

学校だより



令和2年 5月 7日
横浜市立二谷小学校
校長 石川 秀子

宇宙船地球号

学校長 石川 秀子

春の主演は、こんもりとした花を咲かせた校庭の八重桜から満開を迎えようとしている街路樹のハナミズキへと交代です。気が付くと早春に花を咲かせていた梅の木に青い実が実り始めています。時期を得れば、花も実も咲くとき実る時を忘れないことの不思議さに改めて感心させられます。植物がその身の内に蓄える力、地面から養分を吸い上げる力、時期を得て花開かせる力から私たちも学びたいものです。

さて、新型コロナウイルス感染症対策のため全市一斉休校が続いています。3月上旬から学校生活から遠ざかっている子どもたちには、学校に通わないで過ごす初めての春の毎日です。新型コロナウイルスの感染拡大で自宅から外出せずに過ごしている毎日の中で、なかなか生活のペースがつかめなかったり、思うように学習が進められなかったり、家族や周りの人との距離感がうまくつかめなかったりなどと感じている人もいるかもしれません。

長期間宇宙に滞在し、ミッションを果たす宇宙飛行士の皆さんから毎日を乗り越える知恵やヒントを学びたいと思い、調べてみました。横浜市生まれの日本人宇宙飛行士の野口聡一さんは「国際宇宙ステーションにいる宇宙飛行士も同じように行動制限があり、思うように人に会えないなど、似たような精神状況になります。そうした中で自分は、朝起きたあと水を飲んでから運動するという自分なりのルーティーンを作ることが、生活のペースをつかむために非常に大事でした」と狭い空間で健康的な生活をするため、宇宙飛行士ならではの秘けつを紹介されました。（4月24日 NHK ニュースより）また、宇宙飛行士の山崎直子さんはユーチューブ番組「おうちで宇宙～Stay home, play space!～」の中で子どもたちへのメッセージとして「我慢しなければならないことが多いと思いますが、趣味を楽しんだりこの機会に趣味を作ったりして楽しみを見つけられるといいですね。（中略）皆さんも家でも体を動かせると思います。座って過ごすことが多いと思うので、30分に1度は立ち上がるようにしましょう。一人一人が宇宙船地球号の乗組員です。皆が宇宙飛行士として、この新型コロナウイルスの危機を乗り切るために一緒に頑張りましょう」と話されています。（「デジタル毎日」より）

友達を誘って、大勢で遊びたいと願っている子どもたちもいると思いますが、今はおとなも子どもも全員が人との接触を極力避けることが大切です。家にいること、その中で今自分にできることに取り組んでいきましょう。STAY AT HOME です。

教職員も学校への出勤を控え、在宅業務も取り入れながら教材研究や教材準備等を行っています。

家庭学習に関しまして、各ご家庭で様々な工夫や対応をしていただきありがとうございます。学校からの情報はメール配信や学校 Web ページへの掲載などに取り組んでおります。今後も、接触を避けることを第一に考え、メールや学校 Web ページでの発信と、必要時の電話連絡によって皆様と連携を図ってまいりたいと思います。

休業が延長される中での家庭学習の課題としては、動画配信を利用した学習方法を具体的にわかりやすく伝えていきたいと考え、本校は取り組んでいます。各ご家庭でプリントアウトすることを求めず、手元にある教科書やスキルなどを使って学習に取り組めるように課題提示をしていきたいと考えています。どうぞご理解をいただきますよう、お願いします。

「宇宙船地球号」の乗組員である私たちが一体となって、この新型コロナウイルス感染症の流行拡大を阻止できるよう、取り組んでいきましょう。職場や在宅での一人一人の役割や仕事が社会を支えています。最後になりましたが、検査や治療のために日々取り組んでくださっている皆様をはじめ、社会生活の維持のため取り組んでくださっている交通、流通、福祉等の関係者の皆様に感謝申し上げます。